

「きれいな海を守るために」

本部町立瀬底小学校 6年生 関口 七夏海^{せきぐち なな み}

沖縄は人が集まる島。生き物がやってくる島。そして、戦争を経験した島。

沖縄にはまだ米軍の基地があちこちに残っているのに、さらに辺野古基地をつくろうとしている。

埋め立てということで海の生き物が住んでいた場所は陸になって、サンゴや魚がきらきら輝いていた海は、いつか生き物がいない暗い海になってしまうかもしれません。だから基地をつくる代わりにサンゴを卵から人の手で育てて大きくなったら、海にサンゴを返し、魚がたくさん住むようになったら、海に図書館を作ったらいいと思います。

なぜなら海の中に図書館があると、夏は涼しくて、本を読んだり勉強している時、集中して出来るし、海の水が冷たかったらエアコンを使わなくていいので、地球温暖化防止になると思ったからです。

また、その図書館の壁をガラスにしたら魚等の観察が出来るので、自然の水族館にもなれるのです。そして、海の中に発電機を入れて、海の流れの強さで、電気をつくり海の図書館で蓄電をしたり、陸に電気を送って、人々が、快適に過ごせるようになったらいいと思います。このことは、地球を壊さずに生きていくため、私たちができることではないかと思いました。

もし、海に図書館ができたなら、私は、海に関係する物語の本をガラスの壁の前に座って想像して読み、終わったらずっと魚などを見て考えたいです。

また、夏休みなどの自由研究を本で調べたり、魚やサンゴ礁を見て観察したいです。その時に、気になった生き物を見つけてカメラのシャッターを押すと、レンズに入った魚の名前や性別、年齢や生まれたところなどの情報が一瞬で分かるような機能があったら、世界一長生きしているカメや新種の生き物などを自分が見つけたいと思います。もし、新種が見つかったら、自分の名前の一部を入れて、図鑑にのせ、みんなにみてもらいたいです。

この図書館は、お年寄りや障害を持っている人、外国人など、だれでも理解できるような設備にして、たくさんの人に来てもらいたいです。そうすることによって、海の素晴らしさや大事さを知ってもらえるはずですよ。

私は、ダイビングをしたことがあるので、海に潜ったときは、たくさん海の生き物と出会い、あまりの素晴らしさに驚き感動しました。

だから、環境を壊す観光ではなくて、環境を大切にする観光ができるといいなと思います。